

2025年3月期 決算説明資料

リスクモンスター株式会社

証券コード3768

1. 2025年3月期 重点施策・取り組み (P.2)	17. 株主のための施策等 ① (P.23)
2. 決算サマリー (P.3)	18. 株主のための施策等 ② (P.24)
3. 業績推移(四半期) (P.4)	19. 株主のための施策等 ③ (P.25)
4. ビジネス分類別 業績 (P.5)	20. 損益に影響を与えた事項に関する説明 (P.26)
(1) 法人会員向けビジネス 業績 (P.6)	IRに関するお問合せ (P.27)
(1) 法人会員向けビジネス ①与信管理サービス 業績 (P.7)	TOPICS
(1) 法人会員向けビジネス ②ビジネスポータルサイト 業績 (P.8)	「リスクモンスター財務診断シート」を提供開始(P.29)
(1) 法人会員向けビジネス ③教育関連 業績 (P.9)	業界トップクラス(自社調べ)の価格水準と、情報量の「e-与信ナビ」へ(P.30)
(2) その他ビジネス ④BPOサービスを含むその他ビジネス 業績 (P.10)	リスモングループのサービスがIT導入補助金2024に認定(P.31)
5. 会員数推移(四半期) (P.11)	リスモン独自の与信指標「RM格付」を改定！(P.32)
6. 連結貸借対照表 (P.12)	リスクモンスターの企業データベースが「Salesforce」と連携可能に(P.33)
7. 連結キャッシュ・フロー (P.13)	「反社チェック定期サービス」提供開始(P.34)
8. 2026年3月期 業績予想 (P.14)	「決算書AI-OCR」技術が特許取得！(P.35)
9. 今後の見通し (P.15)	「Zoom」との予定連携機能をリリース(P.36)
10. RM財務格付による財務分析 ① (P.16)	「安否確認メール自動配信」機能提供開始(P.37)
11. RM財務格付による財務分析 ② (P.17)	「ASPICクラウドアワード2024」基幹業務系ASP・SaaS部門の総合グランプリ受賞！(P.38)
12. 企業理念と長期ビジョン (P.18)	「J-MOTTOグループウェア」がAWS 認定ソフトウェアに(P.39)
13. 『第8次中期経営計画(2024～2025年度)』全体的な基本方針 (P.19)	中小企業のリスクマネジメント体制構築を支援(P.40)
14. 『第8次中期経営計画(2024～2025年度)』事業別の基本方針 (P.20)	最新刊「リスモン業種別審査ノート中国 2024年版」を発行(P.41)
15. リスクモンスターグループのビジネスモデル (P.21)	CMを公開！「リスモン与信の日」制定！(P.42)
16. DX(デジタルトランスフォーメーション)への取り組み (P.22)	「リスモンAI与信管理PDF」で円満な事業承継を実現(P.43)

1Q

- ▶「リスクモンスター財務診断シート」申込受付開始(4月)
- ▶J-MOTTOスケジュール機能と「Zoom」の予定連携機能を提供開始(4月)
- ▶「J-MOTTOサービス」がIT導入補助金2024に認定(4月)
- ▶与信判断ツールである「e-与信ナビ」に「商業登記PDF」の機能や情報等を追加し、提供データを拡充させたうえで、新価格体系によるサービス提供を開始(6月)
- ▶「決算書分析システム」がIT導入補助金2024に認定(6月)
- ▶「リスモン・グリーンプロジェクト」植樹2,000本に到達(6月)
- ▶J-MOTTOが気象庁の緊急地震速報情報と連携した「安否確認メール自動配信」機能を提供開始(6月)
- ▶中国において「中国日系企業攻めモン」提供開始(6月)
- ▶社員研修サービス「サイバックスUniv.」がAWS認定ソフトウェアに(6月)
- ▶13期連続の増配となる1株当たり15円の配当を実施(6月)
- ▶eラーニング 提供開始したシリーズ、コース
 - ・障害者雇用場面ごとの対応例
 - ・「景品表示法」をスキマ時間で学べるマイクロラーニング
 - ・お手軽健康フィットネス
 - ・「内部統制」がなぜ必要なのか

調査結果・与信コラム 発表

- ▶「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」(4月)
- ▶「就職したい企業・業種ランキング」(5月)
- ▶「中国半導体事業 2024年業界速報」(5月)
- ▶「この企業に勤める人と結婚したいランキング」(6月)

リスモン調べ動画

- ▶「お子さん／お孫さんに勤めてほしい企業」(4月)
- ▶「就職したい企業・業種」(5月)
- ▶「この企業に勤める人と結婚したい」(6月)

- ▶「広告業」「繊維・衣服等卸売業」(4月)
- ▶「宿泊業」「洗濯・理容・美容・浴場業」(5月)
- ▶「廃棄物処理業」「飲食品卸売業」(6月)

2Q

- ▶無料アプリ「Riskmonster for Salesforce(ベータ版)」提供開始(7月)
- ▶「リスクモンスター財務診断シート」を無料提供、3月決算企業様のお申込受付(7月)
- ▶格付ロジックをバージョンアップし、倒産リスクを判別するRM格付を新たに30万社以上に付与(7月)
- ▶「反社チェック定期サービス」提供開始(8月)
- ▶「Rismon企業データ for Salesforce」を発表(9月)
- ▶「決算書AI-OCR」技術が特許取得(9月)

eラーニング 提供開始したシリーズ、コース

- ・社会人準備講座 内定者に役立つ知識と実践すべきアクション
- ・ChatGPTやCanva活用術など、eラーニングセミナー講師動画シリーズ150コース
- ・ITパスポート試験対策シリーズなどeラーニング13コース
- ・「商業登記簿の見方」や「知的財産権」、「労働法」などマイクロラーニング10コース
- ・AI時代の今こそ必要なロジカルシンキングを学ぶeラーニング2コース

調査結果・与信コラム 発表

- ▶「動産・債権譲渡登記設定企業に関する倒産分析(2024年版)」(7月)
- ▶「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」(7月)
- ▶「手形等の決済期限短縮に関する影響アンケート」(7月)
- ▶「世界に誇れる日本企業」(8月)
- ▶「中国における斜陽産業調査ランキング」(8月)
- ▶「上場企業ケッサンピック」(9月)

リスモン調べ動画

- ▶「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」(7月)
- ▶「世界に誇れる日本企業」(8月)
- ▶「上場企業ケッサンピック」(9月)

- ▶「娯楽業」「自動車整備業」(7月)
- ▶「飲食店」「職業紹介・労働者派遣業」(8月)
- ▶「食料品小売業」「食料品製造業」(9月)

3Q

- ▶中国企業信用調査レポートの一般販売において、Web注文受付を開始(10月)
- ▶厚生労働大臣認定「トライくるみん」取得(10月)
- ▶総務省後援「ASPICクラウドアワード2024」にて、「与信管理クラウドサービス」が「基幹業務系ASP・SaaS部門の総合グランプリを受賞(11月)
- ▶研修担当者250人に聞いた「社員研修に関するアンケート」調査結果発表(11月)
- ▶常陽銀行と信用調査に関する業務提携を開始(12月)
- ▶「J-MOTTOグループウェア」、AWSファンデーションナルテクニカルレビューを通過(12月)
- ▶倒産リスクを判別する格付ロジックを改定(12月)
- ▶APIサービス「反社API」の提供データを拡張して提供開始(12月)

eラーニング 提供開始したシリーズ、コース

- ・「情報セキュリティ基礎コース」シリーズ2コース
- ・チームワーク醸成に役立つeラーニング2コース
- ・ビジネスパーソンが知っておきたい法律系知識！マイクロラーニング12コース
- ・第一線のWebマーケターが解説するeラーニング29コース

調査結果・与信コラム 発表

- ▶「震災対策に関する意識」(10月)
- ▶「金持ち企業ランキング」(11月)
- ▶「大学1、2年生が就職したいと思う企業・業種ランキング」(12月)
- ▶「どこよりも早い！「2024年倒産動向レポート」(12月)
- ▶「企業の取引リスクに対する意識」(12月)

リスモン調べ動画

- ▶「震災対策に関する意識調査」(10月)
- ▶「金持ち企業ランキング」(11月)
- ▶「大学1、2年生が就職したいと思う企業・業種ランキング」(12月)

- ▶「無店舗小売業」「織物・衣服・身の回り品小売業」(10月)
- ▶「はん用機械器具製造業」「業務用機械器具製造業」(11月)
- ▶「電子部品・デバイス・電子回路製造業」「電気機械器具製造業」(12月)

4Q

- ▶最新刊「リスモン業種別審査ノートVol.1(第4編)」を発行(1月)
- ▶リスモンのAI企業データ名寄せサービスが好評！取引先や企業データの整備ツールを無料提供(3月)
- ▶リスクモンスターと大塚商会、中小企業のリスクマネジメント体制構築を支援(3月)
- ▶最新刊「リスモン業種別審査ノート中国2024年版」を発行(3月)

eラーニング 提供開始したシリーズ、コース

- ・ビジネスパーソンが知っておきたい法律系知識から会社の健康経営までマイクロラーニング12コース
- ・「基礎から学ぶカスタマーハラスメント」シリーズ
- ・「クリティカルシンキング基礎講座」シリーズ
- ・コミュニケーションに役立つeラーニング3コース
- ・eラーニング「Webセミナーオンデマンド配信シリーズ」12コース
- ・企業審査や取引リスク低減に役立つeラーニング7コース
- ・「セミナー講師動画シリーズ」197コース

その他

- ・株式会社東京商工リサーチとの控訴審が最終的に解決(3月)

調査結果・与信コラム 発表

- ▶「格付ロジック改定によるRM格付変動の影響」(2月)
- ▶「AI技術のビジネス活用に対する意識」(2月)
- ▶「離婚したくなる夫・妻の仕事」(3月)

リスモン調べ動画

- ▶「2024年倒産動向レポート」(1月)
- ▶「ビジネス活用に対するAI意識調査」(2月)
- ▶「離婚したくなる夫・妻の仕事」(3月)

- ▶「生産用機械器具製造業」「輸送用機械器具製造業」(1月)
- ▶「機械器具卸売業」「情報通信機械器具製造業」(2月)
- ▶「機械器具小売業」「総合工事業」(3月)

- ▶「AI等を活用し、自社保有データの分析推進によるサービス開発と業務効率化」
- ▶「クライアントへのDX化支援サービスの展開」
- ▶「デジタルプラットフォーム活用による業務効率化とテレワーク推進」

リリース

リスモン調べ

業界レポート

中計

	2024年3月期	2025年3月期	増 減	前期比
売上高	3,666,482 千円	3,728,251 千円	61,769 千円	101.7 %
営業利益	300,992 千円	263,991 千円	△37,000 千円	87.7 %
経常利益	290,616 千円	289,951 千円	△664 千円	99.8 %
親会社株主に帰属する当期純損益 (△は損失)	160,935 千円	△49,599 千円	△210,534 千円	—
1株当たり当期純損益(EPS) (△は損失)	21.48 円	△6.67 円	△28.15 円	—
会員数(注)	14,007 ID	14,442 ID	435 ID	103.1 %
自己資本当期純利益率(ROE)	2.7 %	△0.8 %	△3.5 ポイント	—

(注) 各サービスに重複登録している会員を含む

◆ 売上高

与信管理サービス事業、ビジネスポータルサイト事業及びBPOサービス事業が堅調であったこと等から、前期を上回りました。

◆ 利益

独自データベース及びサービスシステム増強のための投資を継続していること等から、前期を下回りました。
また、株式会社東京商工リサーチとの控訴審が最終的に解決し、解決金及び弁護士費用等を特別損失(訴訟関連損失)として計上したこと、今後の使用見込みがなくなったネットワーク機器類、ソフトウェア及びコンテンツ資産を除却したこと等に伴い固定資産除却損を計上したこと等から、親会社株主に帰属する当期純損失は49,599千円となりました。

◆ 会員数

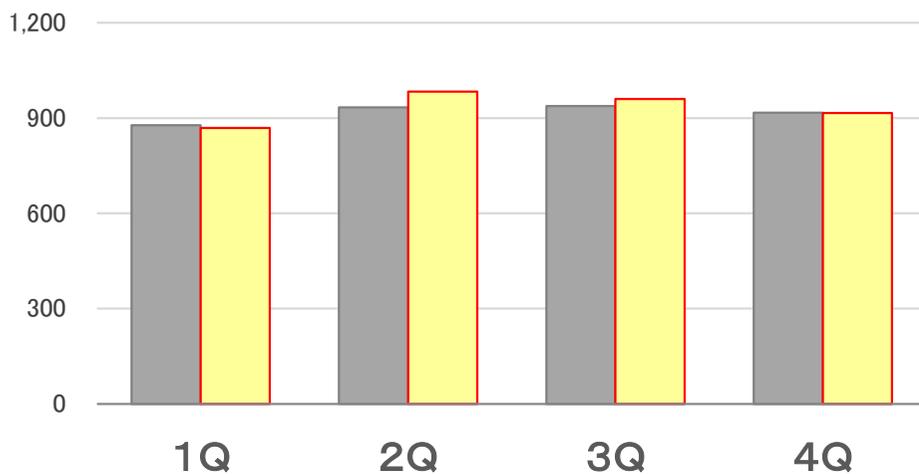
与信管理サービス事業の会員数が増加したため、全体では435ID増加し、14,442会員となりました。

(単位：千円)

2025年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	868,886	983,255	960,180	915,929
営業利益	13,772	104,825	91,626	53,767
2024年3月期	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	877,517	933,644	938,021	917,298
営業利益	51,678	99,236	77,135	72,942

売上高

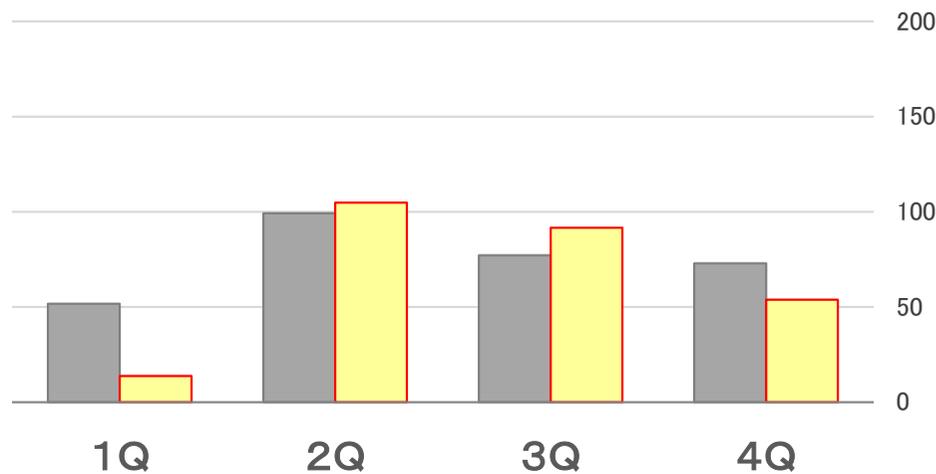
(単位：百万円)



■ 2024年3月期 ■ 2025年3月期

営業利益

(単位：百万円)



■ 2024年3月期 ■ 2025年3月期

リスクモンスターグループ ビジネスモデル



(単位 : 千円)

	2024年3月期	2025年3月期	増減額	前期比
(1) 法人会員向けビジネス	2,821,137	2,815,852	△5,284	99.8%
(2) その他ビジネス	1,316,024	1,318,268	2,244	100.2%
売上高 計	4,137,161	4,134,121	△3,039	99.9%
(1) 法人会員向けビジネス	542,589	489,153	△53,435	90.2%
(2) その他ビジネス	16,104	6,786	△9,317	42.1%
利益 計	558,693	495,940	△62,753	88.8%

(注) セグメント別の売上高はサービス間取引消去前の売上高で記載

リスクモンスターグループ ビジネスモデル



(単位：千円)

	2024年3月期	2025年3月期	増減額	前期比
①与信管理サービス	1,983,944	1,985,114	1,170	100.1%
②ビジネスポータルサイト	604,891	606,888	1,997	100.3%
③教育関連	232,301	223,849	△8,452	96.4%
法人会員向けビジネス売上高計	2,821,137	2,815,852	△5,284	99.8%
①与信管理サービス	256,395	247,959	△8,436	96.7%
②ビジネスポータルサイト	230,489	205,840	△24,649	89.3%
③教育関連	55,704	35,354	△20,349	63.5%
法人会員向けビジネス利益計	542,589	489,153	△53,435	90.2%

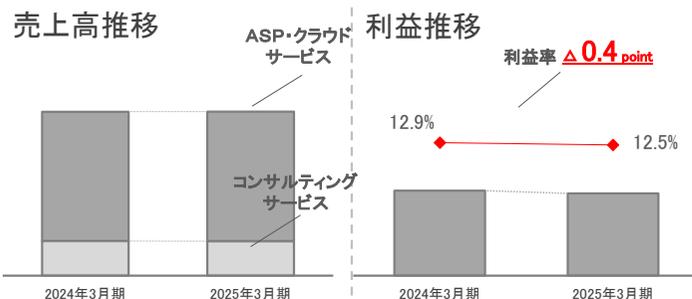
会員数 (ID)	13,536	13,946	410	103.0%
-----------------	--------	--------	-----	--------

(単位 : 千円)

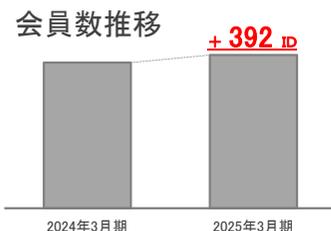
	2024年3月期	2025年3月期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス	1,563,165	1,567,135	3,970	100.3%
コンサルティングサービス	420,779	417,978	△2,800	99.3%
売上高 計	1,983,944	1,985,114	1,170	100.1%
利益	256,395	247,959	△8,436	96.7%
利益率	12.9%	12.5%	△0.4ポイント	—
会員数 (ID) (注)	7,498	7,890	392	105.2%

(注) サービス相互連携を行う提携会員を含む

売上高推移



会員数推移



◆ 売上高

既存会員のサービス利用は低調に推移したものの、昨年6月より新価格体系で順次提供データを拡充させた与信判断ツール「e-与信ナビ」の利用が堅調であったこと、反社チェックヒートマップ及び反社チェックのコンサルティングサービスが順調であったことから、与信管理サービス全体では前期を上回りました。

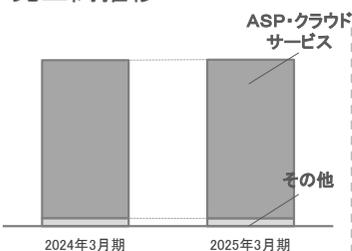
◆ 利益

独自データベースの充実を図るため企業情報取得の強化を継続しており、それに係る原価が増加していること、サービスシステム増強費用が増加したため、前期を下回りました。

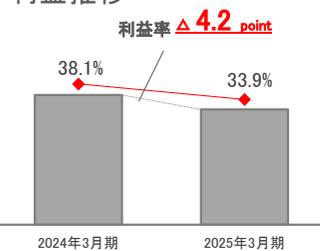
(単位 : 千円)

	2024年3月期	2025年3月期	増減額	前期比
ASP・クラウドサービス	571,337	573,896	2,559	100.4%
その他	33,554	32,992	△561	98.3%
売上高 計	604,891	606,888	1,997	100.3%
利益	230,489	205,840	△24,649	89.3%
利益率	38.1%	33.9%	△4.2ポイント	—
会員数 (ID)	3,074	3,067	△7	99.8%
ユーザー数	144,995	145,914	919	100.6%

売上高推移



利益推移



会員数推移



ユーザー数推移



◆ 売上高

会員数は微減となり、ディスク容量の利用は減少しているものの、ユーザー数は増加していること、また前期末に入会した大口会員の売上が寄与したこと等から、売上高は前期並みとなりました。

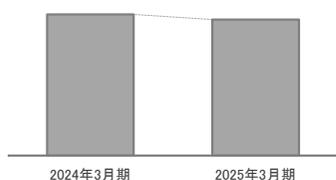
◆ 利益

サービス増強費用及び人員増による費用が増加したこと等から、前期を下回りました。

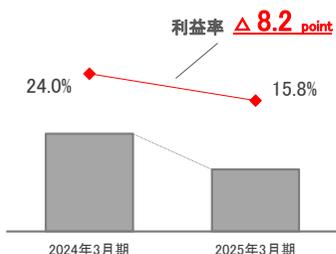
(単位 : 千円)

	2024年3月期	2025年3月期	増減額	前期比
売上高 計	232,301	223,849	△8,452	96.4%
利益	55,704	35,354	△20,349	63.5%
利益率	24.0%	15.8%	△8.2ポイント	—
会員数(ID)	2,964	2,989	25	100.8%

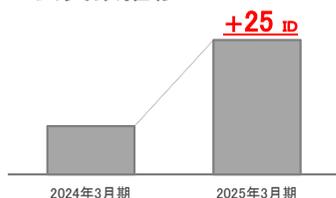
売上高推移



利益推移



会員数推移



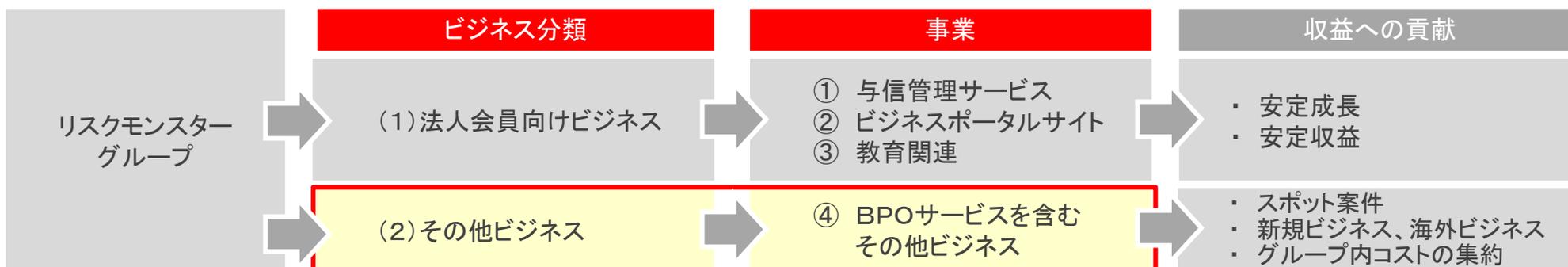
◆ 売上高

定額制サービスの売上高が減少したこと等から、前期を下回りました。

◆ 利益

コンテンツの充実化に伴い原価が増加したこと等から、前期を下回りました。

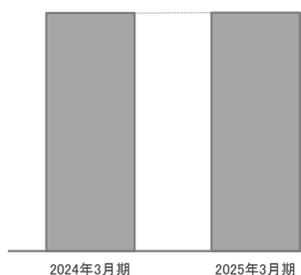
リスクモンスタースタートアップ ビジネスモデル



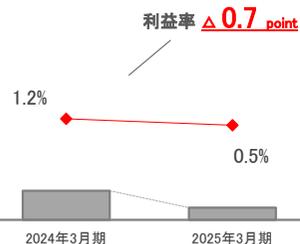
(単位：千円)

	2024年3月期	2025年3月期	増減額	前期比
その他ビジネス売上高計	1,316,024	1,318,268	2,244	100.2%
その他ビジネス利益計	16,104	6,786	△9,317	42.1%
利益率	1.2%	0.5%	△0.7ポイント	—

売上高推移



利益推移



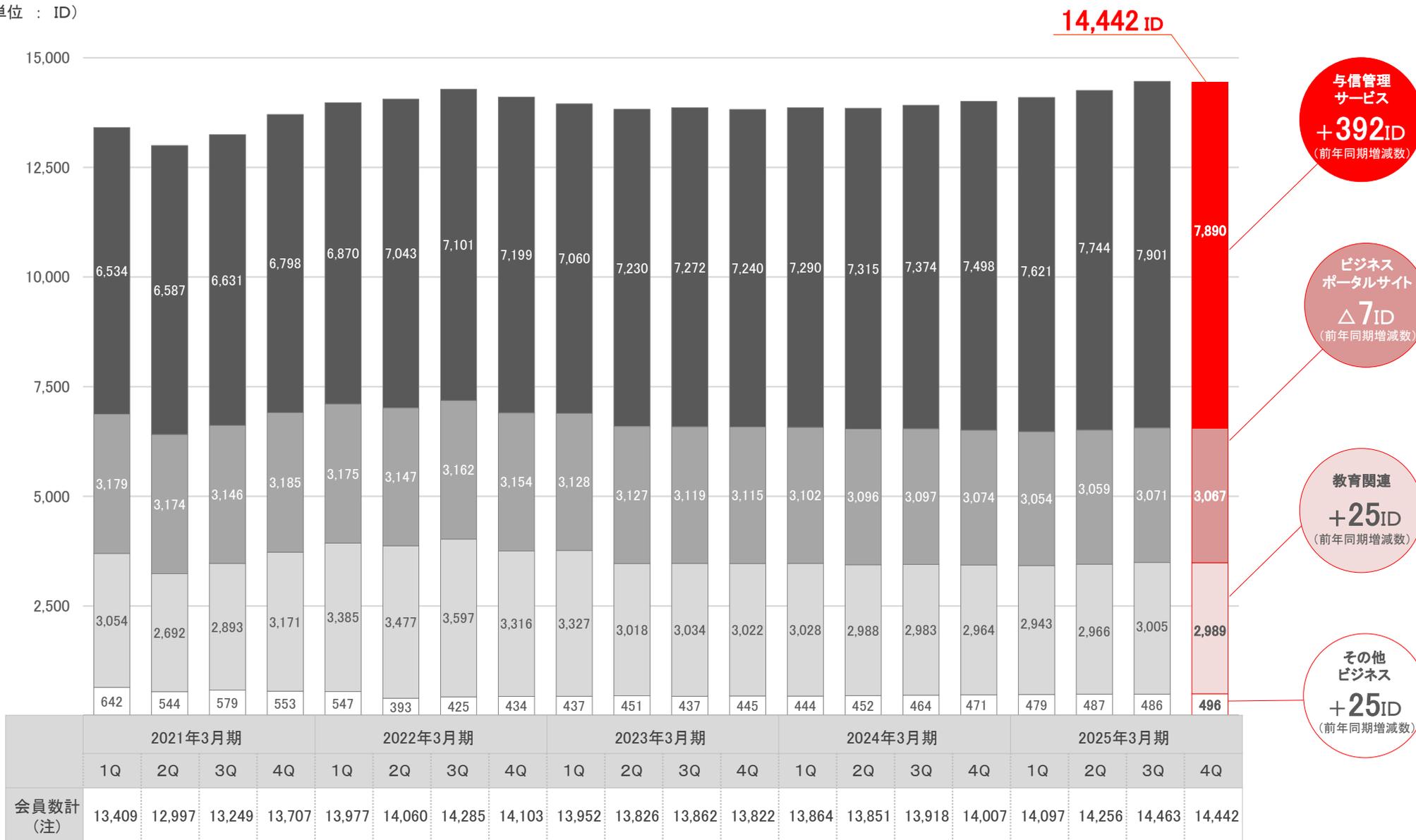
◆ 売上高

BPOサービス事業は、新規案件の受注やスポット案件があったこと等から、前期を上回りました。グループの海外展開(中国)を事業とする利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)は、グループのコスト削減を担うオフショア開発は順調に推移しましたが、中国における信用調査レポートは、納品待ちの案件が積み上がっているものの、当第4四半期連結会計期間の売上高は低調に推移し、前期を下回りました。

◆ 利益

利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ)の売上高が減少したこと、円安の影響を受け仕入原価が増加したこと、サービス提供拡充のための原価等が増加したこと、また、人員増による人件費が増加したこと等から、前期を下回りました。

(単位 : ID)



(注) 各サービスに重複登録している会員を含む

(単位 : 千円)

	2024年3月期	2025年3月期	増減額	前期比
流動資産	2,295,893	2,567,213	271,319	111.8%
固定資産	4,490,111	4,572,049	81,937	101.8%
資産合計	6,786,005	7,139,262	353,257	105.2%
流動負債	433,092	859,188	426,095	198.4%
固定負債	330,600	297,898	△32,702	90.1%
負債合計	763,693	1,157,086	393,393	151.5%
純資産	6,022,311	5,982,175	△40,135	99.3%
負債・純資産合計	6,786,005	7,139,262	353,257	105.2%
自己資本比率	87.6%	82.4%	△5.2ポイント	—
1株当たり純資産(BPS)	808.06円	788.06円	△20.00円	97.5%

自己資本比率は82.4%と高水準を維持しております。

(単位 : 千円)

	2024年3月期	2025年3月期	増減額	前期比
営業活動	812,431	226,009	△586,421	27.8%
投資活動	△713,814	△1,020,855	△307,041	143.0%
財務活動	△278,135	199,668	477,804	—
現金に係る換算差額	△1,132	△1,848	△715	—
現金増減額	△180,651	△597,026	△416,374	—
現金期末残高	1,722,763	1,125,736	△597,026	65.3%

◆ 営業活動

税金等調整前当期純損失	△9,912
減価償却費	775,263
固定資産除却損	235,005
訴訟関連損失	124,382
投資有価証券売却益	△83,000
供託金の預入による支出	△740,000
法人税等の支払額	△111,876

◆ 投資活動

無形固定資産の取得による支出	△902,155
投資有価証券の取得による支出	△99,804
投資有価証券の売却による収入	90,000
定期預金の預入による支出	△100,000

◆ 財務活動

短期借入れによる収入	496,000
短期借入金の返済による支出	△145,900
配当金の支払額	△110,491

(単位 : 百万円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減額	前期比
売上高	3,728	3,900	171	104.6%
営業利益	263	380	116	143.9%
経常利益	289	380	90	131.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△49	210	259	—
1株当たり当期純利益(EPS)	△6.67円	28.14円	34.81円	—

(注) 2026年3月期予想は、2025年5月9日の公表値

当期は主力の与信管理サービス事業において、e-与信ナビや反社チェックヒートマップおよび反社チェックのコンサルティングサービスが順調に推移いたしました。引き続き既存会員の利用を促進し、他社とのサービス連携やアライアンスを加速させてまいります。

2026年3月期は、第8次中期経営計画の最終年度となります。長期ビジョンRismonG-30「新しいスタンダードを提供する」に基づき、独自データベースを活用した成長戦略をさらに推進し、目標達成に向けグループ一丸となって取り組んでまいります。

※上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

事業別の見通し

与信管理サービス事業

- ・昨年6月より新価格体系で順次提供データを拡充させた与信判断ツール「e-与信ナビ」の利用や、反社チェックヒートマップ及び反社チェックのコンサルティングサービスが順調だったため、引き続き既存会員のサービス利用の浸透を進め、売上高増加につなげる。
- ・事業環境が改善したため、他社とのサービス連携やアライアンスを加速させる。
- ・サービスリニューアルや独自データベース拡充・増強への投資を積極的に行う。
- ・当連結会計年度において今後使用見込みがなくなった固定資産を除却したことから、固定費が削減され、利益に貢献する見込み。

ビジネスポータルサイト事業

- ・本年5月に料金改定を実施。
- ・会員の利便性と利用促進を推進することで会員数と利用料の増加につなげる。

教育関連事業

- ・コンテンツの充実化を図ることに加え、代理店等を活用することで会員数の増加と利用を促進する。

BPOサービス事業

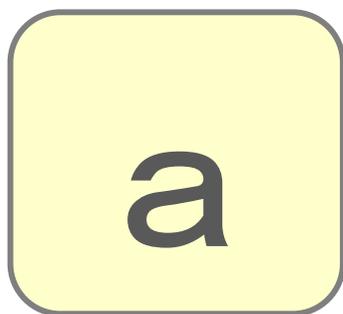
- ・外注先管理の強化、採算管理の徹底、AIを活用した業務効率化を図るとともに、独自データベースサービスの増強、メンテナンス等グループのコスト削減に貢献する。

その他サービス

- ・グループのコスト削減を担うオフショア開発が引き続き順調に推移する見込み。

リスクモンスターグループ の評価 (東証スタンダード:3768)

【RM財務格付】
2025年3月期



【RM財務格付定義】

- a格 財務内容は非常に良好です。
- b格 財務内容は良好です。
- c格 財務内容は概ね良好です。
- d格 財務内容に若干の懸念があります。
- e格 財務内容に懸念があります。
- f格 財務内容に大きな懸念があります。

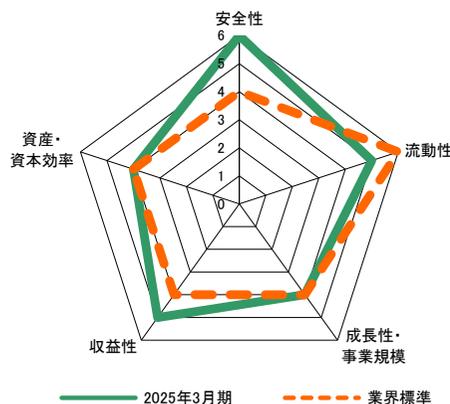
【想定倒産確率】

- a格 … 0.1%
- b格 … 0.5%
- c格 … 1.0%
- d格 … 2.0%
- e格 … 3.0%
- f格 … 6.0%

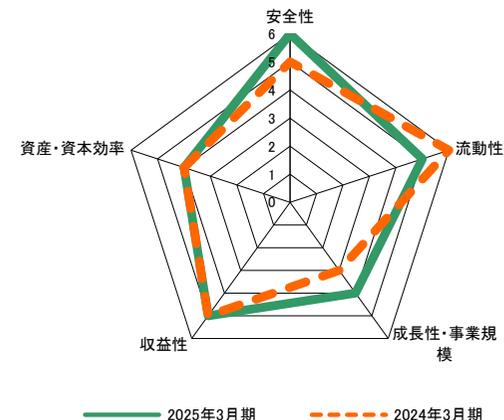
【RM財務格付履歴】

2025年3月期	2024年3月期	2023年3月期	2022年3月期
a	a	a	a
2021年3月期	2020年3月期	2019年3月期	2018年3月期
a	a	a	a
2017年3月期	2016年3月期	2015年3月期	2014年3月期
a	a	a	a

レーダーチャート(業界標準比較)



レーダーチャート(過去データ比較)



安全性	2025年3月期	☆☆☆☆☆☆
	2024年3月期	☆☆☆☆☆
自己資本比率	☆☆☆☆☆☆	
実質自己資本比率	☆☆☆☆☆☆	
借入金利率	☆☆☆☆☆	
借入返済年数	☆☆☆☆☆☆	

収益性	2025年3月期	☆☆☆☆☆
	2024年3月期	☆☆☆☆☆
売上高経常利益率	☆☆☆☆☆☆	
経常収支比率	☆☆☆☆☆☆	
ROA(総資産利益率)	☆☆	

資産・資本効率	2025年3月期	☆☆☆☆
	2024年3月期	☆☆☆☆
売掛債権回転期間	☆☆☆☆☆	
棚卸資産回転期間	☆☆☆☆☆	
総資産回転率	☆☆	

流動性	2025年3月期	☆☆☆☆☆
	2024年3月期	☆☆☆☆☆☆
流動比率	☆☆☆☆☆	
当座比率	☆☆☆☆☆	
現預金回転期間	☆☆☆☆☆	
手形割引率		

成長性・事業規模	2025年3月期	☆☆☆☆
	2024年3月期	☆☆☆
売上高増減率	☆☆☆☆	
売上高規模	☆☆☆☆	
経常利益増減率	☆☆☆	

※実質自己資本比率とは、資産のうち不良性の恐れのある金額を自己資本から控除した上で算出した自己資本比率です。

※☆☆☆☆☆☆(良い)~☆(悪い)にて表示しています。
★が表示されない項目は、評価対象外です。
評価対象外となることで、コメントが表示されない場合があります。

総合評価	財政面及び収支面は良好で、高い支払能力を有しているため、不安はありません。
安全性	資本蓄積は十分な水準にあり、借入償還能力も高い状態であるため、安定性の高い資金繰りが見込まれます。
流動性	十分な当座資産を有しており、高い決済能力を有しています。
収益性	利益効率が良好であり、事業による現金創出力を有しているため、高い収益力を有しているといえます。
成長性・事業規模	一定水準の売上規模を有しているものの、収益力が低下しているため、収益基盤にやや不安があります。
資産・資本効率	資産効率がやや低水準にあるものの、資産内容は概ね健全であるため、大きな不安はありません。

当社グループの2025年3月期連結決算におけるRM財務格付は、a～fの6段階中、最高位の「a」となった。その分析内容に関する所見は、以下のとおりである。

【貸借対照表】

グループ連結の財政状態については、親会社株主に帰属する当期純損益△49百万円などによって利益剰余金が159百万円減少したことを主因に、純資産額は2024年3月期から40百万円の減少となった。また、短期借入金350百万円の増加によって総資産が353百万円増加したことも相俟って、自己資本比率としては、前期87.6%から82.4%に5.2ポイント低下したものの、引き続き高い水準を維持している。

借入金に関しては、2024年3月期から短期借入金350百万円が増加したものの、事業収益を償還原資とみた場合の借入返済年数も1年以内に収まっているなど、依然として非常に高い安全性を保っている。

流動性に関しては、訴訟における供託金として計上した差入保証金740百万円について、訴訟解決に伴い現金等価物として計算すると、流動比率298.8%（前年度比231.3ポイント低下）および当座比率282.4%（前年度比222.6ポイント低下）となり、前年度から大幅な低下となっているものの、依然として高い水準を維持しており、現預金残高1,225百万円が月商の3.9か月分に相当する点も合わせて考慮すれば、十分な資金繰り余力を有しているといえる。

総じて、高い支払能力を有しており、特段の懸念もない財政状態と史料される。

【損益計算書】

連結売上高においては、教育関連事業（前年度比96.4%）において、前年度を下回る水準となったものの、与信管理サービス事業（前年度比100.1%）やビジネスポータルサイト事業（前年度比100.3%）、BPOサービス事業（前年度比101.0%）において前年度以上の水準を確保したことで、全体としては前年度比101.7%の増収推移となり、グループ全体としては安定的な推移を保っているといえる。

他方、利益面については、固定資産除却損235百万円や訴訟関連損失124百万円などの特別損失の計上によって当期純損失30百万円となったものの、経常利益289百万円は前年度と同水準にあり、売上高経常利益率7.8%は収益効率として高い水準にあることから、事業収益としては保っているといえ、当社グループ売上高の75.2%が法人会員向けビジネス売上高であり、業績の急激な下振れリスクが低いことも考慮すれば、今後も引き続き利益確保に懸念は少ないものと考えられる。ただし、独自データベースおよびサービスシステム増強のための投資継続に係る費用増加によって、売上高総利益率が47.8%（前年度）から45.6%（当期）へ低下している点や、売上高営業利益率が8.2%（前年度）から7.1%（当期）へ低下している点は、引き続き収益性の改善点といえよう。

リスクモンスター企業理念



顧客を大切にして共に繁栄しよう
プロフェッショナリズムを繁栄の源泉にしよう

2021年度～ 長期ビジョン

RismonG-30

キーメッセージ

新しいスタンダードを提供する

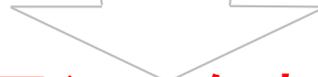
社会に有用な付加価値のある信頼されるサービスを提供



信用を判断するだけでなく信用を生み出す



公正で安心できる仕組み作りの役割を担う



「第8次 中期経営計画(2024年度～2025年度)」初年度

積極的に付加価値を高める投資を行う。ROE 7%以上 を持続させる。

① 事業規模

既存事業の安定的な成長に加えて国内外の事業投資を拡大し、安定的な事業規模を目指す。

② 新規事業投資 業務提携

シナジー効果があり、プロフェッショナルなノウハウと顧客基盤を持つ企業を対象とし、長期的なビジネスパートナーとしての関係構築を目的に、アップセル・クロスセルにつながる投資、付加価値を高める投資を、積極的に実行する。

③ 株主還元

配当性向30%を目標とし、継続的かつ安定的な配当を目指す。

与信管理サービス事業



- 独自データベースのDX化運営強化
- 提供データ拡充によるサービス機能向上
- 価格戦略の見直し
- 更なるAIの活用
- スマホアプリの強化
- RPA、AIを活用した業務効率化による固定費削減

BPOサービス事業



- VERIFY機能を向上
- 反社チェックサービス強化
- AIを活用したサービスの強化
- 新たな海外センター構築
- グループサービスとの連携強化
- AI-OCR活用

教育関連事業



- コンテンツ数アップと質の向上
- リスキリングニーズへの対応
- 成長企業へ向けコンテンツ拡充
- クライアントニーズに合わせた提案

海外事業(中国(上海))



- 中国独自サービスの継続的開発
- グループ連携強化
- オフショア開発の品質向上

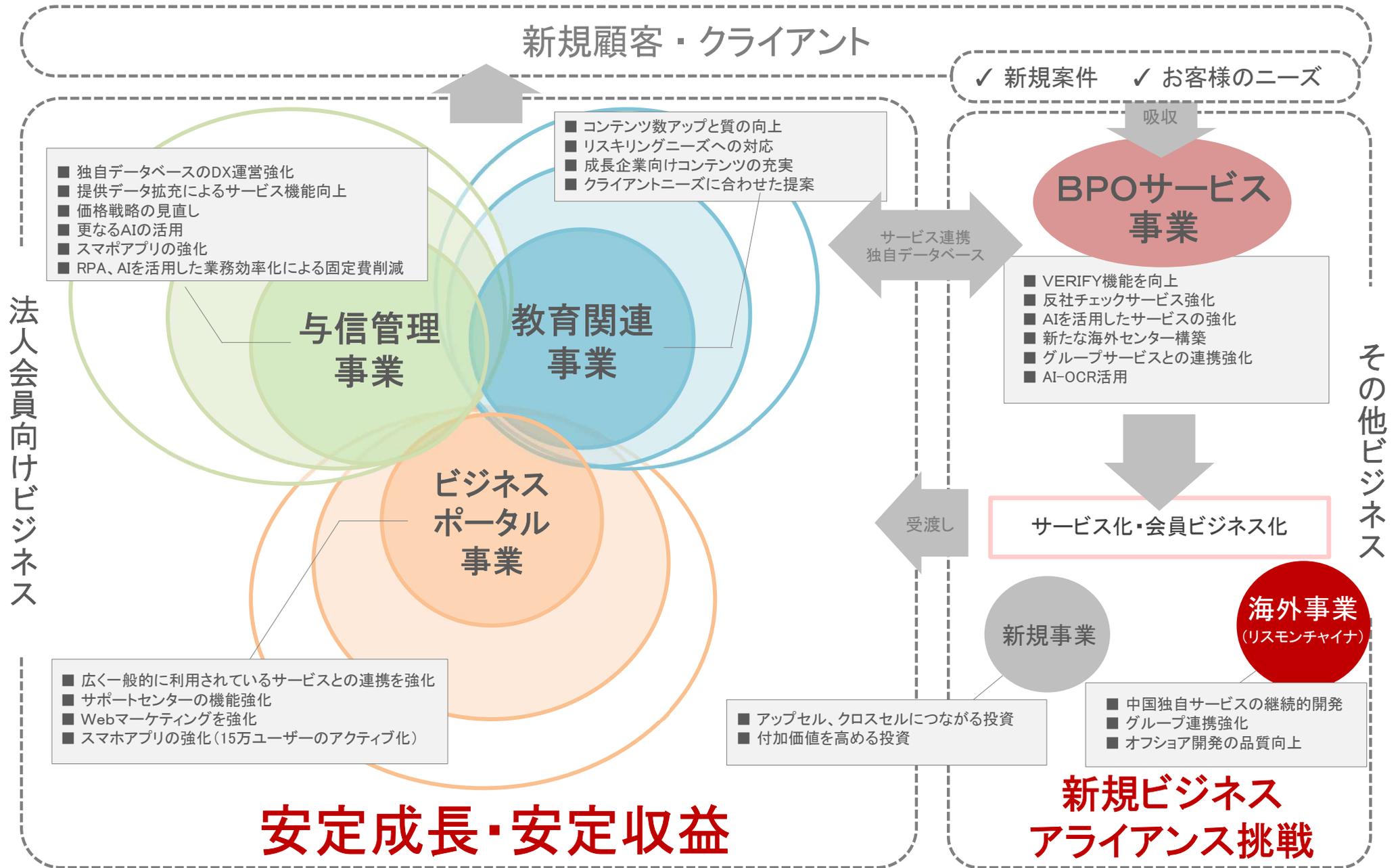
ビジネスポータルサイト事業



- 広く一般的に利用されているサービスとの連携を強化
- サポートセンターの機能強化
- Webマーケティングを強化
- スマホアプリの強化(15万ユーザーのアクティブ化)

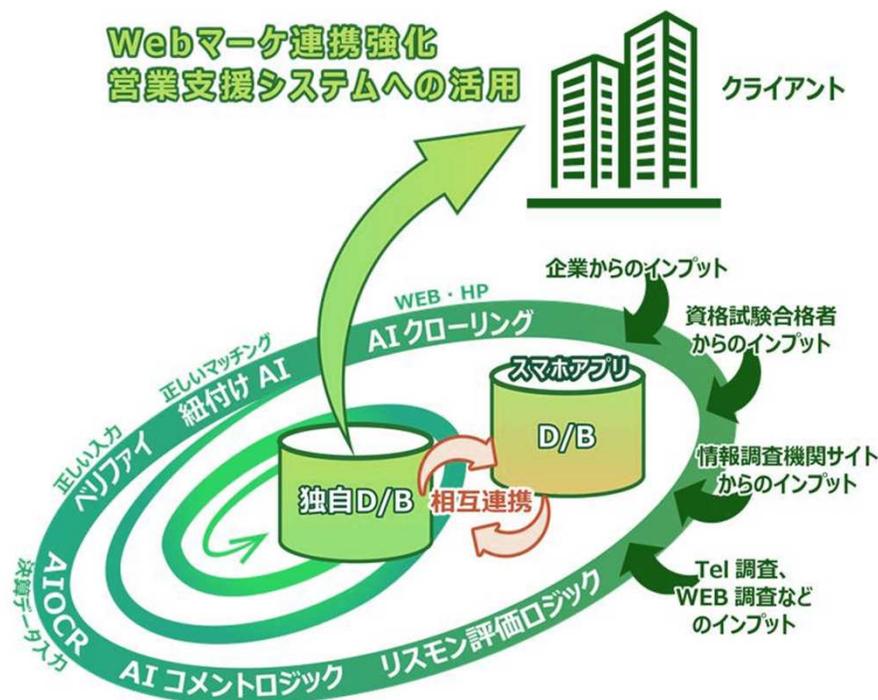
新規事業

- アップセル、クロスセルにつながる投資
- 付加価値を高める投資



当社は、事業を取り巻く厳しい環境を踏まえ、「新しいスタンダードを提供する」をキーワードに、長期ビジョン『RismonG-30』を制定し、この目標を実現するために、「DX(デジタルトランスフォーメーション)への取組」を発信し、以下の取り組みを進めております。

- AI等を活用し、自社保有データの分析推進によるサービス開発と業務効率化
- クライアントへのDX化支援サービスの展開
- デジタルプラットフォーム活用による業務効率化とテレワーク推進



2022年3月に経済産業省が定める「DX認定事業者」の認定を取得

具体的なクライアントへのDX化支援サービスとして、以下のサービスをリリースしました。

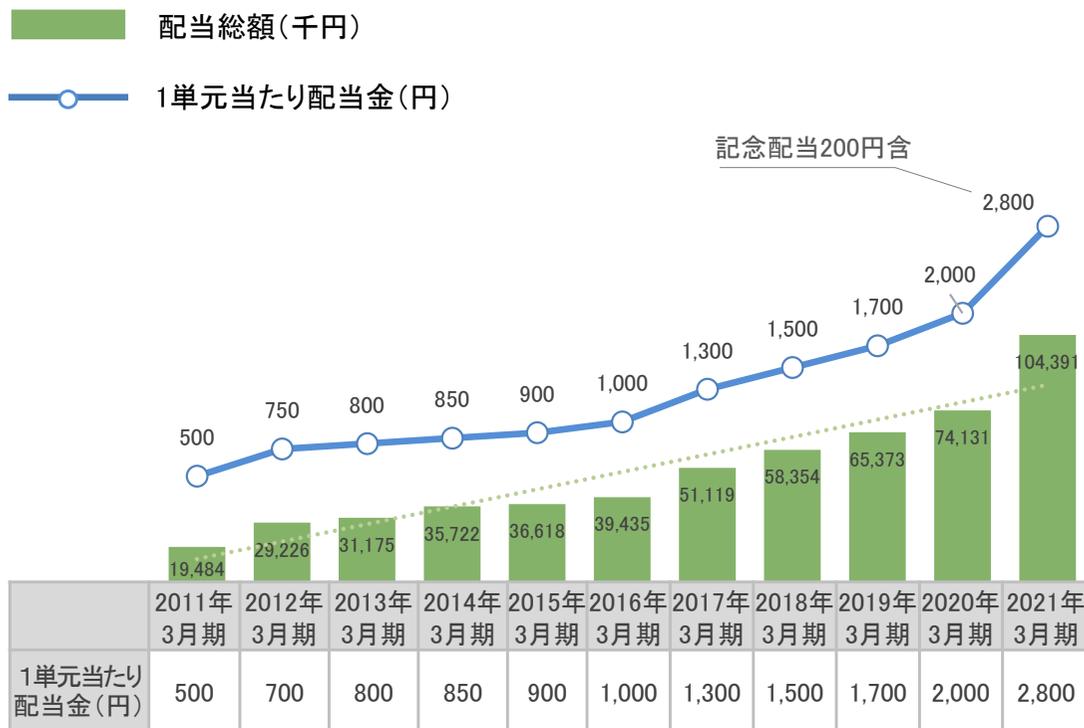
- ▶ 格付ロジックを改定(2024年6月、7月、12月)
- ▶ 「リスモンスター財務診断シート」申込受付開始(2024年4月) 他

株主還元

- ◆2025年3月期は、当初の予定通り、1単元当たり1,500円(1株当たり15.00円)の配当を実施する予定です。
- ◆当社は従来より株主の皆様への利益還元を重要な経営課題として位置付けており、今後も継続的かつ安定的な配当の実施を目指しております。2026年3月期の配当金は、1単元当たり1,500円(1株当たり15.00円)の予定です。

新株予約権

- ◆当社の取締役及び当社グループの役職員に対して有償の新株予約権を発行すること、また、当社グループの従業員に対して、無償にて新株予約権を発行いたしました。
- ◆これらにより、取締役及び全社員が一丸となり、株主の皆様との価値を共有することで、業績向上に対するコミットメントをより高め、中長期的な当社の業績拡大及び企業価値の増大を目指してまいります。



1/2に
株式分割後
(注2)



(注1) 1単元 = 100株

(注2) 2021年4月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割

株主優待制度

当社は、毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された株主様のうち、当社株式を6ヶ月以上保有されており、かつ、300株(3单元)以上の当社株式を保有する株主様を対象とした株主優待制度を設けております。

また、当社株式を1年以上保有されており、かつ、600株(6单元)以上の当社株式を保有する株主様におかれましては、お好きな商品または寄付を1点お選びいただく株主優待となっております。優待商品につきましては、日本各地の名産品や、防災用品、当社オリジナル商品等がございます。



所有株式数	保有期間			
	6ヶ月以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上5年未満	5年以上
300株以上	当社指定商品	当社指定商品		
600株以上		1,500円相当	2,000円相当	2,000円相当
1,000株以上		2,000円相当	3,000円相当	4,000円相当
2,000株以上		3,000円相当	4,000円相当	5,000円相当

第25回 定時株主総会

2025年6月24日に第25回定時株主総会を開催いたします。
本年も、より多くの株主の皆様に参加いただくため、株主総会のWEB配信を行います。

webで議決権の行使、ライブ配信をご視聴いただけます

ライブ配信の視聴は株主様限定となります。また、本総会のライブ配信は視聴のみとなっており、出席とは取り扱われませんので、事前に議決権行使及び事前質問の登録をお願いいたします。

※ご来場を希望される場合、事前参加申込をお願いします。
※ご来場の株主様へのお土産のご用意はございません。
※詳細は株主総会招集通知をご覧ください。



事前質問を受付いたします

株主様より本株主総会の目的事項に関するご質問を事前に受付いたします。株主様のご関心が高いと思われる事項につきましては、株主総会当日にご回答させていただきます。なお、ご回答をお約束するものではありません。

リスモンちゃんねる 配信

「リスモンちゃんねるIR」では当社のIR動画をインターネットで公開しております。

また、YouTube「リスモンちゃんねる」では、一般の方には馴染みの薄い「与信管理」や「リスクモンスターの活動」について、広く普及することを目的に、企業や仕事にまつわるテーマの動画を配信しております。

当社独自の様々な切り口でのアンケート調査を解説する「リスモン調べ」や誰もが普段感じているお金に関する疑問を解決する「学校や会社では教えてくれないお金の話」、仕事での取引トラブルをドラマ仕立てで解説する「THE解決！取引トラブル」などエンターテインメント性の高い動画が特長です。



< リスモンちゃんねるIR >



訴訟による影響

(1) 訴訟の経緯

当連結会計年度において、株式会社東京商工リサーチ(以下「東京商工リサーチ」と)との業務提携解消後、東京商工リサーチから提起された訴訟で、当社は第一審判決(2024年9月2日(判決正本送達日:2024年9月4日))で12億3636万2280円の支払いを命じられ、双方が控訴しましたが、東京高裁からの和解勧告を受け、2025年3月11日に民事調停法17条に基づく「調停に代わる決定」がなされました。当社は社内検討の結果、早期かつ終局的な解決のためこの決定を受け入れることが合理的と判断し、双方異議申し立てもなかったため、2025年3月26日に決定が確定し和解となりました。これにより、解決金1億円を支払うことで、紛争の一切は終局的に解決されました。

(2) 訴訟によって生じた影響額

当中間連結会計期間において、第一審判決をふまえ、将来発生する可能性のある損失見込額等を特別損失(訴訟関連損失)として1,258百万円を計上いたしました。控訴審での和解を受け損失見込額等の戻し入れを行った結果、訴訟関連損失は124百万円となりました。また、控訴のために740百万円を供託金として預入れておりましたが、控訴審での和解を受けて、本年4月中に返金されました。

(3) 今後の取り組み

当連結会計年度に早期解決により、事業環境が改善されたことから、他社とのサービス連携やアライアンスを加速させてまいります。また、サービスリニューアルや独自データベース拡充、増強への投資を積極的に行いまいります。

固定資産除却による影響

当連結会計年度において、主に、今後の使用見込みがなくなったネットワーク機器類(4,943千円)、ソフトウェア(145,271千円)及びコンテンツ資産(83,963千円)等の除却を行い、固定資産除却損を235,005千円計上いたしました。

これにより、固定費が削減され、将来利益に貢献する見込みであります。

お問い合わせ先

IRに関するお問い合わせ

【Mail】

ir@riskmonster.co.jp

【お問い合わせフォーム】

[https://www.riskmonster.co.jp/
form/inquire/ir/index](https://www.riskmonster.co.jp/form/inquire/ir/index)

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

※ 実際の業績は、経済環境の変化や提供するサービスの動向等の様々な要因により将来の見通し等と異なる場合があります。



【会社名】

リスクモンスター株式会社

<https://www.riskmonster.co.jp>

【所在地】

東京都中央区日本橋2-16-5

RMGビル

【連結子会社】

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社

<https://www.j-motto.co.jp>

リスモン・マッスル・データ株式会社

日本アウトソース株式会社

株式会社シップス

<https://www.outsource.co.jp>

利墨(上海)商務信息咨询有限公司

<https://www.rismon.com.cn>

TOPICS



■ 企業の財務偏差値を無料診断

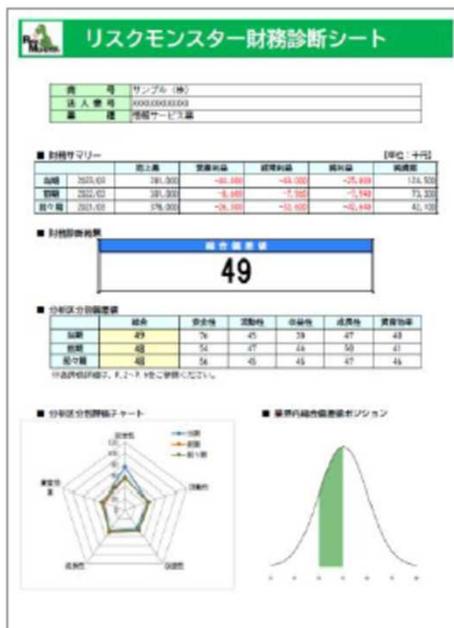
2024年4月15日、リスクモンスター株式会社(以下「リスモン」)は、「リスクモンスター財務診断シート」の提供を開始しました。これは、企業の決算情報を安全性／流動性／収益性／成長性／資産効率の5つの観点から多角的に分析し、リスモンの540万社超の企業データベースが保有する豊富な決算情報との比較により、財務診断の結果を業界での全国順位に基づく「偏差値」を記したものです。

本サービスは、リスモンに決算書を提出していただいた企業ご担当者様へ、無料でご提供いたします。

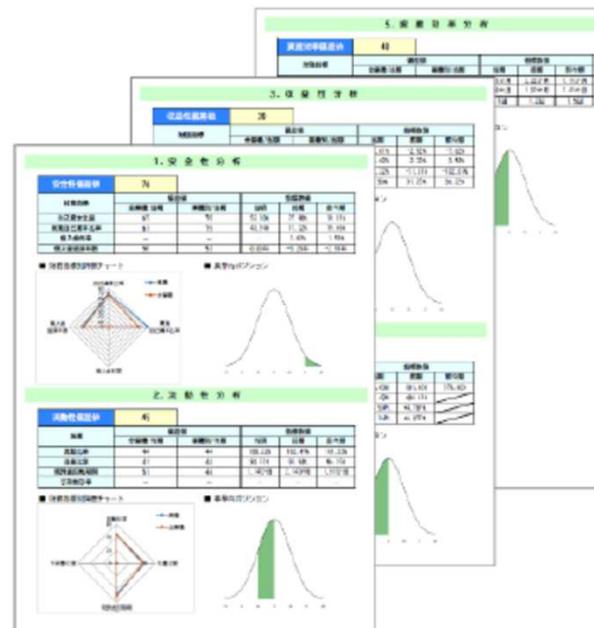
「リスクモンスター財務診断シート」を確認いただくことで、企業ご担当者様は自社の財務内容を、客観的に把握することが可能です。財務指標評価や業界内ポジションを把握し、経営戦略策定の参考資料としてお役立てください。

■ 提供イメージ

■ 提供イメージ



総合評価



分析区分別評価

■6月1日に料金改定を実施

2024年6月1日より、リスクモンスター株式会社は、物価上昇が続く中、会員企業への与信支援を強化するために、与信判断ツール「e-与信ナビ」に「商業登記PDF」を追加するなど提供データを拡充させたうえで、料金を25%ダウンの1,200円(税別)に改定いたしました。

■無料体験施策を実施

業界トップクラスの価格水準と情報量を両立する弊社主力サービス「e-与信ナビ」を最大10件無料のお試しIDで、体験していただくことが可能です。

■参考：与信管理サービス3社 比較表 (当社調べ)

日本国内における与信管理サービス提供会社大手3社(当社含む)のWEB取得サービスを比較。リスモンは1,200円で61項目の企業データを提供し、与信管理サービス業界トップクラスの価格水準と提供項目数を実現します。

	リスモン	A社	B社
企業データ料金(税別)	1,200円	1,200円~1,600円	1,200円
データ提供項目数	61項目(※)	約30項目	約40項目
指標の成績公開	公開	非公開	非公開
上場区分	東証スタンダード	未上場	未上場

※ リスモンサービスでは、「RM与信限度額」、「商業登記PDF」、「認証取得情報」、「業界天気図」など、他社が提供していないオリジナル情報を取得可能です。

RISMON STANDARD PRICE

「e-与信ナビ」
1,600円 ⇒ 1,200円 (25%DOWN)

「決算書分析システム」～95%の高い認識精度、財務分析業務の効率化を実現～

リスクモンスター株式会社(以下「リスモン」)は、リスモンの「決算書分析システム」が「IT導入補助金2023」につづき、「IT導入補助金2024」の対象ツールとして認定されたことを公表いたしました。

リスモンの「決算書分析システム」は、財務分析に特化した与信判断ツールです。独自技術の一つであるAI-OCRを活用し、煩雑な決算書分析業務の効率化を実現します。一般的なAI-OCRでは困難な、統一された勘定科目フォーマットへの出力・統合や、財務分析結果の反映が瞬時に可能なため、財務分析の知識がない営業担当者でも使いやすい設計としています。

取引先より決算書を入手したが分析手法がわからない、決算書分析にかかる時間を短縮したい、取引先の信用力判定に困っている、などの課題解決にお役立ていただけます。



「J-MOTTOサービス」～グループウェアや勤怠管理システム導入に最大1/2の補助金～

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社は、同社が提供するJ-MOTTOサービスのラインナップが、経済産業省 中小企業庁が推進する「IT導入補助金2023」につづき、「IT導入補助金2024」の対象ツールとして認定されましたことを公表いたしました。

本制度を利用することで、導入費用に対して最大1/2以内の補助金交付が受けることが可能です。

IT導入補助金2024について

「IT導入補助金」とは、中小企業・小規模事業者がITツールを導入する際に費用の一部が補助される、中小企業庁監督の補助金制度です。

※給付金の交付決定には、事務局による審査があります。

低コストグループウェアなら
J-MOTTO

- スケジュール 15
- WEB勤務
- 文書管理
- Todo
- 送付予約
- ワークフロー

最大半額補助

導入実績 4,000社 14万人

IT導入補助金認定グループウェア 第1位

■ RM格付を新たに30万社以上へ付与、業歴の浅い新設法人の信用評価分析を強化

2024年7月21日、リスクモンスター株式会社（以下「リスモン」）は、新設法人を対象として新たに30万社以上にRM格付を付与いたしました。RM格付は、企業を6段階のA格～F格（細分化を含めると9段階）に分類した倒産に特化した与信管理指標であり、その倒産判別力は、90%超を維持し高い精度を誇ります。

今回、これまでの格付ロジックを補完する取り組みとして、新設企業の信用評価分析を強化する「新基準」を導入いたしました。

リスモンの格付ロジックは540万社超の生存企業情報と100万社超の倒産企業分析データを、専門アナリストとAIが解析・評価して構築したものです。今回追加する「新基準」では、AIによる生存企業ビッグデータの学習により、対象企業の定性情報から資金力を類推するほか、倒産企業ビッグデータの学習から過去の倒産傾向と比較し、業歴の浅い法人に対しても推定倒産確率を算出することが可能となりました。

業歴の浅い企業は、定量・定性面ともに公開されている情報が少ないため、従来は信用判断が難しいとされてきましたが、この度、格付ロジックを補完する「新基準」を新設法人に適用することにより、新たに330,354社に対してRM格付の付与を実現いたしました。

■ 倒産リスクを判別する格付ロジックを改定 ～収益構造の見直しなどの影響を考慮～

2024年12月15日、リスクモンスター株式会社（以下「リスモン」）は、倒産判別力が91.5%に改善が見込まれる「RM格付ロジック」の改定を実施しました。

厳しい事業環境下において、企業は収益構造の見直しが求められます。商品サービスの適切な価格改定や、人手不足解消に向けたDX推進、サステナビリティへの対応などを事業計画に織り込むことが不可欠となっています。これらの変化を踏まえた企業評価基準の柔軟な見直しが必要です。この度のRM格付ロジックの改定は、こうした背景を踏まえて、審査基準を一部改良すべく実施いたしました。

倒産確率の適時化

経済環境や景気動向の変化により、倒産のトレンドは常に変化しています。変化に対応するために定期的に倒産実績の集計を行い、格付と倒産確率の乖離が生じないように調整を行っています。

定量分析の強化

収益性分析を強化しています。特に、中小零細企業の収益構造に注目し、従来ロジックでは、過小評価されていた企業に対して評価の適正化を図っています。

定性分析の強化

倒産との相関性が高いと考えられる評価項目について見直しを行いました。特に、新設企業の評価において、倒産分析を強化し、評価ロジックに反映することで、格付精度の向上を図ります。

■ 無料アプリ「Riskmonster for Salesforce (ベータ版)」提供開始！

2024年7月1日、リスクモンスター株式会社は、顧客管理プラットフォーム「Salesforce」をご利用の企業様において、無料アプリ「Riskmonster for Salesforce (ベータ版)」経由で、リスモンが提供する国内最大級540万社超の独自企業データベースを利用することができるようにいたしました。

この連携によって、取引先情報の正確な保持・反映が可能となることに加え、入力にかかる時間を大幅に短縮できます。また、アプリ内のデータベースから追加できる電話番号を利用した営業活動への活用や、エリアや業種情報を利用して顧客属性分析やマーケティング活動に活用いただくなど、営業活動の効率化や工数削減、DX推進にお役立ていただけます。



 Riskmonster
  Salesforce

540万社超 企業データ × 連携

540万社を超えるRiskmonsterの
企業データをSalesforceと連携可能に!


 >> 5,400,000 COMPANY DATA >>
 

■ 「Rismon企業データ for Salesforce」

2024年9月6日より、リスクモンスター株式会社は、Salesforce AppExchange上で「Rismon企業データfor Salesforce」を発表しました。これにより、お客様のSalesforceシステム上で、リスクモンスターが提供する540万社超のメンテナンス済み企業情報を参照し、営業やマーケティング活動の工数削減、DX化につなげることができます。

■ IPO準備企業・上場企業を継続サポート

2024年8月22日、リスクモンスター株式会社(以下「リスモン」)は、企業担当者からの「記事検索ツールは取引先の会社名や代表者で地道に調べる”検索地獄”でつらい」「上場後は取引先が増えるので毎年リストアップからやり直し」「事業が拡大して今までのやり方ではパンクしてしまう」といったお悩みを解決すべく、『反社チェック定期サービス』を提供開始します。

初回コンサルティングサービスを受けた後は、新規取引が発生する際にリスモンのサービス上で企業情報を検索するだけ。以降は自動的に取引先情報がデータベースに蓄積されていきます。3ヶ月毎や年一回などの希望するタイミングで、チェックすべきポイントが分かりやすいように過去との“差分”を明示した定期レポートを提供します。

反社チェック定期サービス

定期見直しの検索地獄や業務負担から解放

SERVICE



初回反社チェックで、
取引先データを自動保存



3ヶ月毎に一括見直し、
変更箇所をレポートिंग

反社チェックの効率化を実現

■ サービスの特長

- 1) 定期的なレポート提供
反社チェックファイルに保存された企業情報を、リスクモンスターが一括して再取得します。その後、前回実施時から反社チェックヒートマップの内容に変更があった取引先について、その概要をまとめたレポートをご提供します。
- 2) リスクを色分け表示するからぱっと見で判断しやすい
反社チェックヒートマップは、4つの情報区分(反社警戒、事件事故、訴訟問題、行政処分)と4つの法人・個人区分(商号、代表者、役員、グループ)を組み合わせた4×4の16マスで表示します。
情報の重要性和該当件数に基づいて5段階に色分けされており、リスクが高まるにつれて濃い色で表示されます。
色が付いたマスをクリックすると詳細情報が確認できます。
- 3) リスクヒットした場合の対策までサポート
取引先が反社チェックヒートマップでリスクヒットした場合の、対応策や有事の管理体制など、今後の体制構築にお役立ていただける具体例をご提案します。

2024年9月20日、リスクモンスター株式会社は、当社が提供する「決算書分析システム」に関連するAI-OCR技術の特許を取得いたしました。

- ・特許番号 特許第7558730号
- ・発明の名称 情報処理装置、情報処理方法及びプログラム



■ 特許の概要

本特許技術は、「決算書の画像読み取りと、適切な勘定科目及びそれに紐づく金額を自動で出力する」プログラムです。

① 文字の読み取り精度向上

独自技術により決算書画像データの歪みを補正し、背景ノイズを取り除くことで、文字を明瞭化し、OCRの読み取り精度を大幅に向上させました。

② 高精度な勘定科目の自動選定

決算書のフォーマットを分析し、事前に登録された勘定科目と照合しながら、最も近いものを高精度で自動選定します。勘定科目の記載エリアに応じて、突合科目を動的に変更できるようになっています。

③ ユーザーによる修正機能

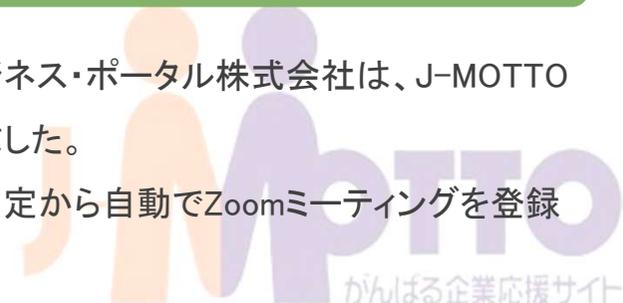
多様な決算書フォーマットに対応し、勘定科目を正確に出力するだけでなく、必要に応じてユーザーが簡単に修正できるインターフェースも提供しています。

Web会議の開催がより簡単に！

2024年4月26日、グループウェアサービス「J-MOTTO(ジェイモット)」を展開するリスモン・ビジネス・ポータル株式会社は、J-MOTTOグループウェアのスケジュールから「Zoom」のミーティング予定を登録できる機能をリリースいたしました。

この連携機能を利用することにより、J-MOTTOのスケジュールに入れた会議や打ち合わせの予定から自動でZoomミーティングを登録し、参加URLをJ-MOTTOのカレンダーに連携させることができます。

これまでJ-MOTTOとZoomのそれぞれに予定を入れる必要があったものを、J-MOTTOのスケジュールに登録するだけで良くなり、日々の予定登録の手間が大幅に削減されます。



The screenshot shows the J-MOTTO calendar interface on the left and the Zoom meeting details on the right. Two orange arrows point from the calendar to the Zoom interface. The top arrow is labeled 'ミーティングの登録' (Meeting Registration) and points to the 'ミーティング' (Meeting) section in the Zoom interface. The bottom arrow is labeled 'ミーティングURLの連携' (Meeting URL Linkage) and points to the meeting details in the Zoom interface.

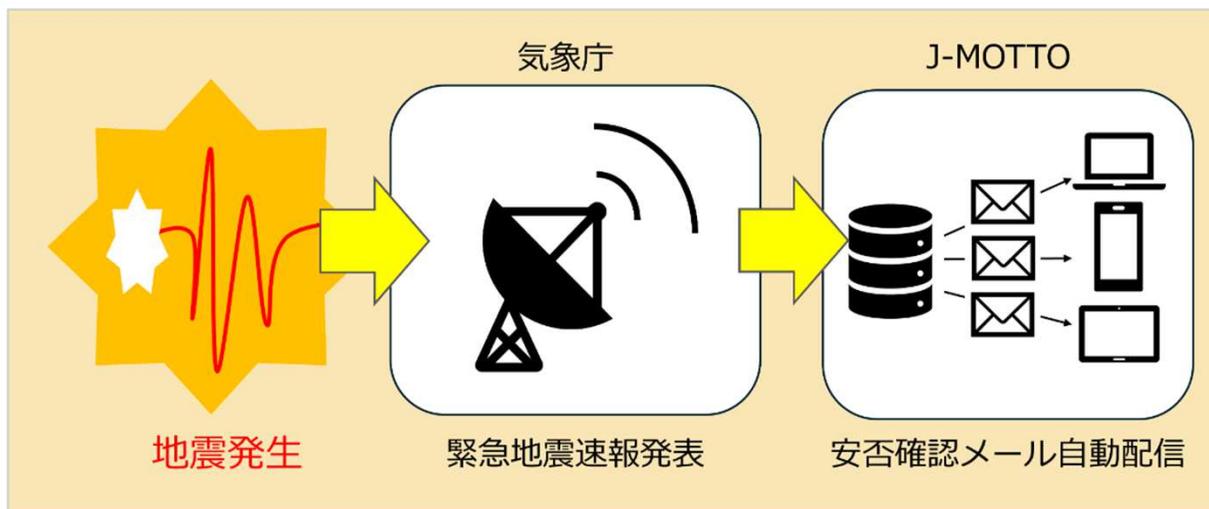
J-MOTTO スケジュール

Zoomミーティング

■ 緊急地震速報と連動！

2024年6月27日、グループウェアサービス「J-MOTTO(ジェイモット)」を展開するリスモン・ビジネス・ポータル株式会社は、気象庁の緊急地震速報情報と連携した、安否確認メールの自動配信機能を提供開始しました。

この機能を利用することで、あらかじめ指定した地域で震度5以上の地震が発生した場合、J-MOTTOグループウェアの安否確認機能から自動的にメールが配信されます。これにより、地震発生から状況の確認、回答の集計までをよりスムーズに実施可能です。J-MOTTOグループウェアをご利用中の会員様は無料でご利用いただけます。



■ 安否確認メール自動配信3つのメリット

- 担当者が離席していても安否確認メールが自動配信される！
- 複数の地域指定が可能で、会社周辺エリアをすべて設定可能
- 気象庁の緊急地震速報と連動しているので情報が正確

■ グランプリ受賞

リスクモンスター株式会社は、一般社団法人日本クラウド産業協会(ASPIC)が主催する「ASPICクラウドアワード2024」において、当社が提供する「与信管理クラウドサービス」が基幹業務系ASP・SaaS部門の総合グランプリを受賞いたしました。



■ このグランプリについて

「ASPICクラウドアワード2024」は、国内のクラウドサービス事業者やユーザ企業・団体を対象に、優秀かつ社会に有益なASP・SaaS/IaaS・PaaS/IoT/AI領域のサービスを表彰するアワードです。国内のIoT・AI・クラウド関連業界の活性化や市場創造、日本経済の発展に寄与することを目的とし総務省などの後援を受けて開催されています。

各分野の有識者・専門家から構成された審査委員会により厳正な審査が行われ、この度、当社の与信管理クラウドサービスが基幹業務系ASP・SaaS部門の総合グランプリを受賞いたしました。

リスモン・ビジネス・ポータル株式会社が提供する「J-MOTTOグループウェア」が、アマゾンウェブサービス(以下、AWS)のファンデーションテクニカルレビューを通過し、「AWS認定ソフトウェア」として認められました。

AWS認定ソフトウェア



■ サービス詳細

サービス概要： クラウド・SaaS型グループウェア

料金体系： 初期費用0円

基本料金(スタンダードプラン) 20ユーザーまで (ディスク容量 300MBまで) 月額4,400円

主な機能： スケジュール管理、掲示板、ワークフローなど26機能

対応デバイス： PC、スマートフォン、タブレット

特長： だれでも直感的に利用できる使いやすさと充実のサポート体制

表彰実績： 『ITトレンド年間ランキング』 グループウェア領域 7年連続1位

『ITreview Grid Award』 最高評価”LEADER” 19期連続受賞

製品サイト： <https://www.j-motto.co.jp/>

■ 大塚商会との協業

株式会社大塚商会（本社：東京都千代田区、代表取締役：大塚裕司）は、リスクモンスター株式会社の与信管理支援および反社チェック支援サービスの取り扱いを開始いたしました。

大塚商会と協力し、全国の中小企業が抱える経営リスクにソリューションを提供し、安全な取引環境の構築を支援します。



■ サービス提供の背景

コロナ禍の資金繰り支援が終了し、2024年の倒産件数が直近9年で最多となる中、「安全な取引先の見極め」は企業経営の生命線です。しかし、支払い能力を評価する「与信管理」と、コンプライアンス上の懸念を評価する「反社・コンプライアンスチェック」の両面から取引可否を判断するにあたり、中小企業の多くは専任のリソースが不足しており、重大なリスクを見逃す可能性があります。リスモンの提供する与信管理支援および反社チェック支援サービスを活用することで、迅速かつ正確な取引判断を行い、リスク低減と事業拡大の両立を実現できます。

今回の取り扱い開始により、これらのサービスを全国の中小企業へ広く届けることで、安全なビジネス環境の構築を支援します。

発行の概要

2025年3月21日、リスクモンスター株式会社(以下リスモン)および、利墨(上海)商務信息咨询有限公司(リスクモンスターチャイナ、以下リスモンチャイナ)は、会員向け書籍の最新刊「リスモン業種別審査ノート中国 2024年版」を出版いたしました。



リスモン業種別審査ノート中国 2024年版

本書について

本書は、パートナーである上海華予信企業信用征信有限公司(所在地:上海市、代表者:趙東岩)の調査協力のもと、リスモンデータ工場とリスモンチャイナの共同制作により発行するものです。会員様から好評を受け、2018年の初版以来4度目の出版となります。

2024年版では、中国における主要15業種を選定し、中国経済における各業界の概要、データの分析結果、与信審査のポイントを掲載しています。また、特別収録として、特に注目を集めている車載用半導体チップや産業ロボットなどに関する重点解説のほか、中国における企業倒産事例や倒産企業分布の分析を収録しています。中国企業との取引における参考資料や業界分析の深掘り資料としてご利用いただけます。

■ CMを公開！

リスクモンスター株式会社は、CMを公開いたしました。「与信管理」「リスクマネジメント」と聞くと、少し堅苦しく感じるかもしれませんが。そこで、今回のCMでは、ドラマ『新宿野戦病院』や連続テレビ小説『虎に翼』など話題作に出演し、今注目を集める俳優・岡部たかし氏を起用。彼の関西弁を活かした“まさかのツッコミ”と、リスクモンスターの公式マスコット「リスモング」とのコミカルな掛け合いを通じて、与信管理の重要性を親しみやすく伝えます。

CM公開URL (YouTube) :

<https://www.youtube.com/watch?v=GaR2ZnEFRb4>

■ 「リスモン与信の日」を制定！

リスクモンスター株式会社は、4月4日を「リスモン与信の日」として一般社団法人日本記念日協会に正式登録しました。与信管理の大切さを広く伝え、健全な取引を支援することを目的に、4月4日（「よ(4)しん(4)」の語呂合わせ)を「リスモン与信の日」として制定しました。取引リスクを管理し、ビジネスの安全を守ることは、日本経済の持続的な成長と安定にもつながると考えています。

この記念日を機に、新CMの公開、創業25周年記念セミナーの開催、顧客向けキャンペーンなどさまざまな取り組みを通じて、与信管理の大切さをより多くの方に知っていただく活動を展開していきます。

■ サービス提供の背景

M&A仲介を手掛ける株式会社fundbook(本社:東京都港区、代表取締役:渡邊和久)は、リスクモンスター株式会社の「リスモンAI与信管理PDF」の利用を開始いたしました。

「リスモンAI与信管理PDF」は、中小企業庁が策定した「中小M&Aガイドライン(第3版)」に対応しています。本サービスを活用して、買い手企業の財務状況・コンプライアンス・事業実態を可視化することで、M&Aに関わるすべての関係者が安心して取引を進められる環境を整備します。



■ 「リスモンAI与信管理PDF」について

「リスモンAI与信管理PDF」は、企業が取引先と安全な取引を行うために把握すべき情報を網羅的にまとめ、企業評価を分析した与信管理支援レポートです。

掲載される企業情報は、AIリサーチ(AIを活用したWebクロウリング等)と、リスモンが持つDXノウハウで収集しています。さらに、リスモン独自の「審査ノウハウ」と「AI分析技術」を用い、信用評価指標(RM格付)、総合評価コメント、分析資料を提供します。